

Sun Java™ System Web Server リリースノート (HP-UX 版)

バージョン 6.1 SP5 2005Q4

Part No. 819-6012

Sun Java System Web Server 6.1 2005Q4 SP5 (HP-UX 版) (以後 Sun Java System Web Server 6.1 SP5) には、重要なセキュリティー脆弱性の修正が含まれています。Sun Java System Web Server のすべてのユーザー、特に Secure Sockets Layer (SSL) バージョン 3 または Transport Security Layer (TLS) を使用した Web サイトのユーザーは、このサービスパックをインストールすることをお勧めします。このリリースでは、Web Server を Web コンテナとした、HP-UX 11i (11.11) v1 プラットフォームに対するサポートを提供します。

このリリースノートには、機能、既知の制限と問題、技術情報、その他の情報の入手先についてなど、Sun Java System Web Server 6.1 SP5 がリリースされた時点で利用できる重要な情報が含まれています。ソフトウェアのインストールおよび構成の前にリリースノートを確認し、その後も定期的に最新の情報を参照してください。

このリリースノートの最新版は次の Sun Java System マニュアル Web サイトから入手できます。<http://docs.sun.com/app/docs/prod/entsys.05q4?l=ja>。ソフトウェアをインストールおよび設定する前、およびその後も定期的に Web サイトを参照して、最新のリリースノートや製品マニュアルを確認してください。

このリリースノートには、次の項目があります。

- [リリースノートの改訂履歴](#)
- [Web Server SP5 2005Q4 について](#)
- [このリリースで修正されたバグ](#)
- [重要な情報](#)
- [既知の問題と制限事項](#)
- [問題の報告およびフィードバックの提供方法](#)
- [その他の Sun のリソース](#)

リリースノートの改訂履歴

表 1 改訂履歴

日付	説明
2006年2月	商用リリース。
2005年11月	ベータ版リリース。

Web Server SP5 2005Q4 について

この節では、次の項目について説明します。

- [機能と拡張機能](#)
- [ハードウェアとソフトウェアの要件](#)
- [サポートされるプラットフォーム](#)

機能と拡張機能

Sun Java System Web Server 6.1 SP5 では、次の機能と拡張機能が提供されています。

- [Java Servlet 2.3 および JavaServer Pages \(JSP\) 1.2 のサポート](#)
- [J2SE Platform 1.5.0 JDK/JRE のサポート](#)
- [WebDAV のサポート](#)
- [NSAPI フィルタのサポート](#)
- [HTTP 圧縮のサポート](#)
- [検索エンジンのサポート](#)
- [強化されたセキュリティー](#)
- [JNDI のサポート](#)
- [JDBC のサポート](#)
- [Sun ONE™ Studio 5 のサポート](#)
- [Active Server Pages のサポート](#)
- [PHP 互換性](#)

- [NSS 3.10 および NSPR 4.5.2 のサポート](#)

Java Servlet 2.3 および JavaServer Pages (JSP) 1.2 のサポート

Sun Java System Web Server では、Java™ 2 Platform, Enterprise Edition (J2EE™) 準拠の Java™ Servlet 2.3 および JavaServer Pages™ (JSP™) 1.2 仕様が実装されています。J2EE 準拠の Web コンテナにより、Java™ テクノロジ標準準拠の Web アプリケーションの設計と配備に必要な柔軟性と信頼性が提供されます。Web アプリケーションは仮想サーバーごとに配備できます。

これらのテクノロジーについては、次のリソースを参照してください。

- Java サーブレット
<http://java.sun.com/products/servlet/index.html>
- JSP (JavaServer Pages)
<http://java.sun.com/products/jsp/index.html>

Sun Java System Web Server のサーブレットおよび JSP の開発については、『Sun Java System Web Server 6.1 Programmer's Guide to Web Applications』を参照してください。

J2SE Platform 1.5.0 JDK/JRE のサポート

Sun Java System Web Server は、HP-UX11i v1 プラットフォーム上の Java™ 2 Platform, Standard Edition (J2SE™) 1.5.0.01 をサポートします。

WebDAV のサポート

Sun Java System Web Server は、WebDAV (Web-based Distributed Authoring and Versioning) プロトコルをサポートしているため、次の機能を利用した Web パブリッシングが可能です。

- RFC 2518 準拠による RFC 2518 クライアントとの相互運用性
- Web パブリッシングのセキュリティーおよびアクセス制御
- ファイルシステムベースの WebDAV コレクションおよびリソースに対する発行の基本操作

WebDAV は、コンテンツのメタデータ、ネームスペース管理、および上書き保護を統合的にサポートします。これらのテクノロジーを WebDAV をサポートする多くのオーサリングツールと組み合わせることで、協同作業環境のための理想的な開発プラットフォームが実現します。

NSAPI フィルタのサポート

Sun Java System Web Server 6.1 SP5 リリースでは、NSAPI (Netscape Server Application Programmer's Interface) が拡張されて、NSAPI フィルタがサポートされるようになりました。

フィルタを使用すると、HTTP 要求および応答ストリームをカスタム処理できます。つまり、ある機能に対して提示されたコンテンツ、またはある機能によって生成されたコンテンツを横取りしたあと、それらを変更することが可能になります。たとえば、あるプラグインで、別のプラグインの SAF (Server Application Function) によって生成された XML ページを横取りする NSAPI フィルタをインストールして、その XML ページをクライアントにとって適切な HTML、XHTML または WAP ページに変換することができます。あるいは、NSAPI フィルタは、クライアントから受信したデータを、別のプラグインに渡す前に解凍することもできます。

詳細は、『Sun Java System Web Server 6.1 SP4 NSAPI Programmer's Guide』を参照してください。

HTTP 圧縮のサポート

Sun Java System Web Server は、コンテンツ圧縮をサポートしています。この機能により、コンテンツ量に合わせてハードウェアコストを増加させることなく、クライアントへの配信スピードを速め、より多くのコンテンツを提供できるようになります。コンテンツ圧縮により、コンテンツのダウンロード時間が減少します。これは、ダイアルアップ接続やトラフィックの多い接続を使用するユーザーにとって利点となります。

詳細は、『Sun Java System Web Server 6.1 SP4 管理者ガイド』を参照してください。

検索エンジンのサポート

Sun Java System Web Server は、フルテキストの検索インデックス作成と検索を提供する Java ベースの検索エンジンをサポートしています。検索機能を使用すると、ユーザーはサーバー上のドキュメントを検索して、結果を Web ページに表示できます。サーバー管理者は、ユーザーが検索対象とするドキュメントのインデックスを作成し、固有のニーズに合わせて検索インタフェースをカスタマイズできます。

エンドユーザーが検索機能にアクセスするために使用できるデフォルトの URL は、次のとおりです。

```
http://<server-instance>:port number/search
```

例:

```
http://plaza:8080/search
```

エンドユーザーがこの URL を呼び出すと、Java Web アプリケーションである「検索」ページが開きます。

キーワード、およびオプションのクエリ演算子を含む、基本および高度な検索を実行する詳細な手順については、検索エンジンに付属のオンラインヘルプを参照してください。これらの情報にアクセスするには、「検索」ページの「ヘルプ」リンクをクリックしてください。

詳細は、『Sun Java System Web Server 6.1 SP4 管理者ガイド』を参照してください。

強化されたセキュリティ

Sun Java System Web Server では、プラットフォーム認証を使用してアクセスを制限できます。6.1 SP5 リリースで、Sun Java System Web Server は Java セキュリティーマネージャーをサポートするようになりました。セキュリティマネージャーは、製品のインストール時には、デフォルトで無効になっています。これは、ある種のアプリケーションでは、パフォーマンスが際立って向上する可能性があるためです。セキュリティマネージャーを有効にすると、J2EE Web アプリケーションに与える権限を制限することにより、セキュリティを向上させることができます。セキュリティマネージャーを有効にするには、server.xml ファイル内のエントリのコメントを外します。

```
<JVMOPTIONS>-Djava.security.manager</JVMOPTIONS>
```

```
<JVMOPTIONS>-Djava.security.policy=instance_dir/config/server.policy</JVMOPTIONS>
```

ここで、instance_dir は、このサーバーインスタンスのインストールディレクトリへのパスです。

server.xml の詳細は、Sun Java System Web Server 6.1 SP4 の『Administrator's Configuration File Reference』を参照してください。

JNDI のサポート

Sun Java System Web Server は、JNDI (Java Naming and Directory Interface™) をサポートします。JNDI により、多種多様なエンタープライズのネーミングサービスおよびディレクトリサービスへのシームレスな接続が可能になります。

JDBC のサポート

Sun Java System Web Server は、購入後すぐに使用できる、シームレスな JDBC™ (Java™ DataBase Connectivity) を提供し、業界標準の JDBC ドライバからカスタマイズされた JDBC ドライバまで幅広くサポートしています。

Sun ONE™ Studio 5 のサポート

Sun Java System Web Server は、Sun™ ONE Studio 5, Standard Edition をサポートしています。Sun ONE Studio テクノロジは、Java テクノロジ開発者のために Sun が提供する、強力で拡張可能な統合開発環境 (IDE) です。Sun ONE Studio 5 は NetBeans™ ソフトウェアをベースにしており、Sun ONE プラットフォームと統合されています (Sun Java System Web Server 6.1 以上のバージョンも、NetBeans 3.5 および 3.5.1 をサポートする)。

Sun ONE Studio は、Sun Java System Web Server 6.1 SP5 がサポートするすべてのプラットフォームでサポートされています。Web Server のプラグインは、次の方法で入手できます。

- Sun Java System Web Server メディアキットの付属 CD
- Sun ONE Studio の AutoUpdate 機能の使用
- Sun Java System Web Server のダウンロードセンター (次の URL) から
<http://www.sun.com/software/download/products/3f567f91.html>

Sun Java System Web Server 6.1 SP5 の Sun ONE Studio 5 プラグインは、ローカルの Web Server (つまり、IDE と Web Server が同じマシン上に存在) でのみ動作します。

Sun Java System Web Server の Sun ONE Studio 5 プラグインの動作は、Sun ONE™ Application Server 7 のプラグインの動作と同じです。

Sun ONE Studio 5 での Web アプリケーション機能の使用については、次のチュートリアルを参照してください。

<http://developers.sun.com/prodtech/javatools/jsenterprise/learning/tutorials/#jse5>

Sun Java System Web Server 6.1 SP5 インスタンスをデフォルトに設定してから、チュートリアルを実行してください。

NetBeans のチュートリアルも参照してください。

<http://www.netbeans.org/kb/41/>

Sun ONE Studio 5 の詳細は、次のサイトをご覧ください。

<http://www.sun.com/software/sundev/jde/>

開発者向けの追加リソースについては、このリリースノート「その他の Sun のリソース」を参照してください。

デバッグのための Sun ONE Studio 5 の使用

デバッグモードで起動したリモート Web Server に IDE を手動で接続する場合、Sun ONE Studio 5 を「リモートデバッグ」用に使用できます。手順は、次のとおりです。

1. Sun Java System Web Server 管理インターフェースを使用して、サーバーインスタンスをデバッグモードで再起動します (「Server Manager」 > 「JVM General」 > 「Debug Enabled」)。
2. JPDA ポート番号を控えておきます。
3. IDE を起動します。
4. 「デバッグ」 > 「開始」の順に選択します。
5. dt_socket メソッドを選択してから、リモートマシン名および JPDA ポート番号を入力します。
6. この時点で、配備されたアプリケーションのサーブレットソースコード上で、IDE に作成されたブレークポイントがアクティブになります。

Active Server Pages のサポート

Sun Java System Web Server 6.1 SP5 は、Sun ONE™ Active Server Pages (以前の Sun ChiliSoft ASP) を通じて Active Server Pages 3.0 仕様をサポートします。Sun ONE Active Server Pages により、Sun Java System Web Server に安全な企業レベルの Active Server Pages エンジンが追加されます。

Sun Java System Web Server 6.1 SP5 は、次のプラットフォーム上で Sun ONE Active Server Pages 4.0.1 をサポートします。

- Solaris™ (SPARC®) 8 および 9
- Windows 2000 および XP
- Red Hat Advanced Server 2.1 と次のプラットフォーム上での Sun ONE Active Server Pages 4.0.2 のサポートは、まだテストされていません。
- HP-UX 11i (11.11) V1

Sun Java System Web Server にインストールする場合は、Sun ONE Active Server Pages のライセンスは必要ありません。Sun ONE Active Server Pages インストーラは、Sun Java System Web Server メディアキットを購入した場合は、付属 CD に含まれています。次の場所からダウンロードすることもできます。

<http://www.sun.com/software/chilisoft/index.html>

次の点に注意してください。

- Sun ONE Active Server Pages プラグインを使用するには、Sun Java System Web Server 6.1 SP5 のインストール後にさらに約 50M バイトのディスク容量が必要になります。
- インストールを始める前に、ルートとしてログインしていることを確認してください。

Sun ONE Active Server Pages の詳細については、上記の URL をご覧ください。

PHP 互換性

Sun Java System Web Server 6.1 SP5 は、広く使用されている多用途のオープンソース Web スクリプト言語である PHP と互換性があります。PHP は、主要なすべてのオペレーティングシステム上で実行できます。

Sun Java System Web Server 6.1 SP5 には、PHP バージョン 4.3.2 を使用することをお勧めします。PHP に関する Sun Java System Web Server 固有のインストールおよび設定情報については、<http://www.php.net/manual/en/install.netscape-enterprise.php> を参照してください。

NSS 3.10 および NSPR 4.5.2 のサポート

Sun Java System Web Server 6.1 SP5 においてサポートされる NSS が、3.9.5 (バージョン 6.1 SP4) から 3.10 にアップグレードされました。NSS は、セキュリティ機能が有効なサーバーアプリケーションを複数のプラットフォーム間で開発するために設計された、ライブラリのセットです。Sun Java System Web Server 6.1 SP5 は、NSPR 4.5.2 もサポートしています。

ハードウェアとソフトウェアの要件

Web Server SP5 2005Q4 には次のソフトウェアが必要です。

表 2 HP-UX のハードウェアとソフトウェアの要件

コンポーネント	プラットフォーム要件
サポートされるプラットフォーム	Solaris 8 (SPARC) Solaris 9 (SPARC、x86) Solaris 10 (SPARC、x86) RH AS 3.0 RH AS 2.1 HP-UX 11i (PA-RISC) Windows 2000 Advanced Server SP4 Windows 2003 Server
オペレーティングシステム	HP-UX 11i v1
RAM	512M バイト
ディスク容量	300M バイト

サポートされるプラットフォーム

Sun Java System Web Server 6.1 SP5 は、HP-UX プラットフォームにインストールできます。次の表は、プラットフォームのサポートについてまとめたものです。インストール要件の詳細は、このリリースノート内の「必要なパッチ」および『Sun Java System Web Server 6.1 インストールおよび移行ガイド』の第 2 章を参照してください。

注 HP-UX 11i (11.11) は、PA-RISC プラットフォーム上でのみサポートされます。

表 3 Sun Java System Web Server 6.1 SP5 でサポートされるプラットフォーム

ベンダー	アーキテクチャー	オペレーティングシステム	必要最小限のメモリ	推奨するメモリー	推奨するディスク容量
Hewlett-Packard	PA-RISC 2.0	HP-UX 11i (11.11) v1	256M バイト	512M バイト	300M バイト

このリリースで修正されたバグ

Web Server SP5 2005Q4 (3.6) で修正されたバグを、次の表に示します。

表 4 Web Server SP5 2005Q4 で修正されたバグ

バグ番号	説明
6330478	アンインストール中に https-*, httpacl、plugins、ns-icons などのディレクトリが削除されません。

重要な情報

次の項目について説明します。

- [インストールに関する注意事項](#)
- [Sun Java System Web Server 6.1 での非推奨または変更される公開インタフェース](#)
- [製品マニュアル](#)
- [障害を持つ方のためのアクセシビリティ機能](#)

インストールに関する注意事項

パッチの要件とインストールの詳細は、次の節を参照してください。

- [パッチの要件について](#)

パッチの要件について

次の表に、整合パッチの番号と最低バージョンを示します。ここに示されているパッチはすべて、アップグレードで必要とされる最低バージョンです。このリリースノートの出版後に新しいバージョンのパッチが発行されている可能性もあります。新しいバージョンには、パッチの末尾に異なるバージョン番号が表記してあります。たとえば、123456-04 は 123456-02 より新しいバージョンですが、パッチ ID は同じです。各パッチに固有の手順については、README ファイルを参照してください。

パッチを入手するには、<http://sunsolve.sun.com> にアクセスしてください。

表 5 HP-UX に必要な Web Server 6.1 SP5 2005Q4 整合パッチ

パッチ番号	パッチの説明
121502-01	NSPR
121503-01	NSS
121493-01	SASL
121494-01	LDAP J SDK
121497-01	ICU
121510-01	HP-UX 11.11: Sun Java™ System Web Server 6.1 SP5 2005Q4
121935-01	HP-UX 11.11: Sun Java™ System Web Server 6.1 SP5 2005Q4 (Localization Patch)

Web Server を JES3 から JES4 にアップグレードする手順については、<http://docs.sun.com/app/docs/doc/819-4460> にある『Sun Java Enterprise System 2005Q4 Upgrade Guide for HP-UX』を参照してください。

Sun Java System Web Server 6.1 での非推奨または変更される公開インタフェース

Sun Java System Web Server 6.1 上の次の公開インタフェースは、推奨されないか、将来の Web Server リリースで互換性のない方法で変更される場合があります。Web Server 6.1 製品ではこれらのインタフェースが変更されることはありません。これらのインタフェースに依存するスクリプトを将来の Web Server リリースで機能させるには、更新が必要な場合があります。

表 6 非推奨または変更される公開インタフェース

設定ファイルまたはユーティリティ	説明
magnus.conf	変更。一部の機能は、ほかのファイルに移される場合があります。
server.xml	変更。スキーマと機能が変更される場合があります。
nsfc.conf	非推奨。機能がほかのファイルに移される場合があります。
dbswitch.conf	非推奨。このファイルは削除される場合があります。機能はほかのファイルに移される場合があります。
password.conf	非推奨。このファイルは削除される場合があります。機能はほかのファイルに移される場合があります。

表 6 非推奨または変更される公開インタフェース (続き)

設定ファイルまたはユーティリティ	説明
ファイルレイアウト	変更。設定ファイル構造が変更される場合があります。
スクリプトの起動、停止、再起動、ローテーション	変更。これらのユーティリティの名前または場所、あるいはその両方が変更される場合があります。
wdeploy アプリケーション	非推奨。このユーティリティは削除される場合があります。機能はほかの管理ユーティリティに統合される場合があります。

製品マニュアル

Sun Java System Web Server には製品マニュアル一式が用意されており、次の場所で参照できます。

<http://docs.sun.com/app/docs/coll/1308.1>

Sun Java System Web Server のマニュアルは、PDF および HTML 形式のオンラインファイルとして利用できます。このマニュアルで Sun Java System Web Server 6.1 について説明されている内容は、Sun Java System Web Server 6.1 SP5 にも適用されます。次の表に、各マニュアルで説明されている作業と概要の一覧を示します。

表 7 Sun Java System Web Server マニュアルロードマップ

参照事項	参照先
ソフトウェアおよびマニュアルについての最新情報	『リリースノート』
Sun Java System Web Server 入門。サーバーの基本と機能を紹介する実習を含む (はじめて使用するユーザーに推奨)	『Getting Started Guide』
次のインストール作業の実行 Sun Java System Web Server とその多様なコンポーネントのインストール、サポートするプラットフォーム、および環境	『インストールガイド』

表 7 Sun Java System Web Server マニュアルロードマップ (続き)

参照事項	参照先
<p>次の管理作業の実行</p> <ul style="list-style-type: none"> • 管理およびコマンド行インタフェースの使用 • サーバー環境の設定 • サーバーインスタンスの使用 • サーバーアクティビティの監視およびログ • サーバー保護のための証明書および公開鍵暗号の使用 • サーバー保護のためのアクセス制御の設定 • Java™ 2 Platform、Enterprise Edition (J2EE™ プラットフォーム) のセキュリティー機能の使用 • アプリケーションの配備 • 仮想サーバーの管理 • パフォーマンスニーズに合わせたサーバー作業負荷の定義およびシステムのサイズ決定 • サーバードキュメントのコンテンツと属性の検索、およびテキスト検索インタフェースの作成 • コンテンツ圧縮のためのサーバー設定 • WebDAV を使用した Web 発行およびコンテンツオーサリングのためのサーバー設定 	<p>『管理者ガイド』</p> <p>このガイドは次に示す Web Server のインストール場所からも入手可能です。 server_root/manual/https/ag/</p>
<p>以下を実行するためのプログラミングテクノロジーおよび API の使用</p> <ul style="list-style-type: none"> • Sun Java System Web Server の拡張および変更 • クライアントの要求に応じたコンテンツの動的生成 • サーバーのコンテンツの変更 	<p>『Programmer's Guide』</p>
<p>カスタム NSAPI (Netscape Server Application Programmer's Interface) プラグインの作成</p>	<p>『NSAPI Programmer's Guide』</p>
<p>Sun Java System Web Server におけるサーブレットおよび JavaServer Pages™ (JSP™) テクノロジーの実装</p>	<p>『Programmer's Guide to Web Applications』</p>
<p>設定ファイルの編集</p>	<p>『Administrator's Configuration File Reference』</p>
<p>パフォーマンス最適化のための Sun Java System Web Server の調整</p>	<p>『Performance Tuning, Sizing, and Scaling Guide』</p>

障害を持つ方のためのアクセシビリティ機能

このメディアの出版以降にリリースされたアクセシビリティ機能入手するには、Sun に米国リハビリテーション法 508 条に関する製品評価資料を請求し、その内容を確認して、どのバージョンが、アクセシビリティに対応したソリューションを配備するためにもっとも適しているかを特定してください。更新バージョンのアプリケーションは、

<http://sun.com/software/javaenterprisesystem/get.html> にあります。

アクセシビリティに対する Sun の対応については、<http://sun.com/access> を参照してください。

既知の問題と制限事項

この節では、Sun Java System Web Server 6.1 SP5 リリース (HP-UX 版) の既知の問題と制限事項について説明します。

Webserver の管理サーバーが `java securerandom` 例外をスローする (6320158)

Webserver の管理サーバーや Webserver のインスタンスの起動時に `securerandom` 例外を受け取った場合、この例外は `printStackTrace` の出力であるため無視できます。

問題の報告およびフィードバックの提供方法

Sun Java System Web Server で問題が発生した場合は、次のいずれかの方法で Sun カスタマサポートにお問い合わせください。

- Sun ソフトウェアのサポートサービスのオンライン
<http://www.sun.com/service/sunone/software>
このサイトには、保守プログラムとサポートの連絡先電話番号へのリンクに加え、ナレッジベース、オンラインサポートセンター、ProductTracker へのリンクもあります。
- 保守契約に対応した電話番号

できるだけ適切に問題に対処するために、お問い合わせの際には次の情報をお知らせください。

- 問題の詳細な内容 (発生状況や業務への影響の度合など)
- マシンのタイプ、OS のバージョン、および製品のバージョン (問題に関連している可能性のあるパッチやその他のソフトウェアを含む)
- 問題を再現するための詳細な手順
- エラーログおよびコアダンプ

ご意見、ご要望の送付先

Sun ではマニュアルの品質向上のため、お客様のご意見、ご要望をお受けしております。

コメントをお送り頂く場合は、<http://docs.sun.com> にアクセスして、「コメントの送信」をクリックしてください。オンラインフォームにマニュアルのタイトルと Part No. を入力してください。Part No. は、マニュアルのタイトルページかドキュメントの最上部に記載されている 7 桁または 9 桁の数字です。

その他の Sun のリソース

Sun Java System の有用な情報は、次の場所から入手できます。

- Sun Java System Web Server 6.1 および Service Pack のマニュアル
<http://docs.sun.com/app/docs/coll/1308.1>
- Sun ソフトウェア製品およびサービス
<http://www.sun.com/software>
- Sun 開発者向け情報
<http://developers.sun.com/>
- Sun 開発者サポートサービス
<http://developers.sun.com/prodtech/support/>
- ソフトウェアサポートサービス
<http://www.sun.com/service/support/software/>
- Sun Java System ソフトウェアサポートサービス
<http://www.sun.com/support/>
- Sun コンサルティングおよびプロフェッショナルサービス
<http://www.sun.com/service/sunjavasystem/sjsservicessuite.html>

Copyright © 2006 Sun Microsystems, Inc. All rights reserved.

本書で説明する製品で使用されている技術に関連した知的所有権は、Sun Microsystems, Inc. に帰属します。特に、制限を受けることなく、この知的所有権には、<http://www.sun.com/patents> の一覧に示される米国特許、および米国をはじめとするほかの国々で取得された、または申請中の特許などが含まれています。

SUN PROPRIETARY/CONFIDENTIAL.

U.S. Government Rights - Commercial software. Government users are subject to the Sun Microsystems, Inc. standard license agreement and applicable provisions of the FAR and its supplements.

ご使用はライセンス条項に従ってください。

本製品には、サードパーティーが開発した技術が含まれている場合があります。

本製品の一部は、カリフォルニア大学からライセンスされている Berkeley BSD システムに基づいていることがあります。

Sun、Sun Microsystems、サンロゴマーク、Java、および Solaris は、米国およびその他の国における米国 Sun Microsystems, Inc. の商標もしくは登録商標です。SPARC の商標はすべて、米国 SPARC International, Inc. のライセンスを受けて使用されている、米国およびその他の国における同社の商標または登録商標です。

その他の Sun のリソース